



大戸川ダムだより



第25号

2025年
4月発行

大戸川ダム周辺地域の桜



いしずえ
石居地区



おおどおり
大鳥居地区



ちよくし
勅旨地区



まき
牧地区 (関西電力大戸川発電所前)



きのせ
黄瀬地区 (黄瀬交流館さらら前)

～大戸川ダム周辺地域の桜が春の装いに～

大津市の^{いしずえ}石居地区や^{まき}牧地区、^{おおどおり}大鳥居地区、甲賀市信楽町の^{きのせ}黄瀬地区や^{ちよくし}勅旨地区などでは、大戸川の堤防等に桜が整備されており、春の装いになっています。

このうち勅旨地区では、大正時代に桜の植樹が行われましたが、戦後伐採され、長らく桜並木は失われていました。現在見られる桜並木は、平成14年に地域住民が中心となって植樹し、復元したものです。

◆令和7年度の体制



今年度もよろしく
お願いいたします！

【職員・期間業務職員22名】

令和7年度事業実施予定位置図

※記載の工事・業務については、主要なもの（維持作業、水理水文調査、事務補助等を除く）を記載しています。
（R7.4.1時点）

工事契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
工①	大戸川ダム左岸他調査横坑試掘工事	R6.8.3~R7.6.23	玉井建設(株)	ダム本体の地質調査



調査契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
調①	大戸川ダム本体河床部地質調査業務	R6.9.12~R7.4.30	大日本ガイシ(株)	ダム本体の地質調査
調②	大戸川ダム本体右岸地質調査その5業務	R6.9.13~R7.4.30	(株)ニューエック	ダム本体の地質調査
調③	大戸川ダム本体左岸地質調査その2業務	R6.9.14~R7.4.30	(株)建設技術研究所	ダム本体の地質調査
調④	大戸川ダム本体右岸地質調査その6業務		(契約手続中)	ダム本体の地質調査
調⑤	大戸川ダム本体右岸地質調査その7業務		(契約手続中)	ダム本体の地質調査

設計・検討契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
設①	大戸川ダム地域振興検討業務	R6.4.16~R7.5.30	(株)オリエントコンサル	事業用地利活用検討
設②	大戸川ダム栗東信楽線北部道路落石対策工詳細設計業務	R6.5.8~R7.5.9	(株)イト日本技術開発	落石対策、トンネル設備の詳細設計等
設③	大戸川ダム管理用道路詳細設計他業務	R6.5.21~R7.9.30	(株)オリエントコンサル	ダム管理用道路の詳細設計
設④	大戸川ダム環境調査結果とりまとめ業務	R6.6.19~R7.5.30	日本工営(株)・(一財)水源地球環境センター	環境調査結果のとりまとめ
設⑤	大戸川ダム基礎岩盤特性解析業務	R6.10.19~R7.7.31	(株)ニューエック	ダム本体の地質解析
設⑥	大戸川ダム本体修正設計業務	R7.1.10~R8.3.25	(株)ニューエック	ダム本体の詳細設計他
設⑦	大戸川ダム栗東信楽線道路予備修正他業務		(契約手続中)	付替栗東信楽線、付替市道・林道の設計他
設⑧	大戸川ダム周辺整備検討業務		(契約手続中)	事業用地利活用検討
設⑨	大戸川ダム放流設備水理検討業務		(契約手続中)	ダムの洪水吐や放流能力に関する検討
設⑩	大戸川ダム転流工詳細設計業務		(契約手続中)	転流工の詳細設計
設⑪	大戸川ダム地質総合解析とりまとめ業務		(契約手続中)	ダム本体の地質解析

【コラム】国土交通省発足25年 ~MLIT Road 25~

✓ 国土交通省は、令和7(2025)年に発足から25年目を迎えることを踏まえ、これまでの25年を振り返り、これからの25年を展望する広報戦略「MLIT Road 25」を実施しています。

✓ 「MLIT」は国土交通省の英語名 (Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism) の略称です。ロゴの赤色の環には、「歩んできた道のり (Road)」と「25周 (年目)」という2つの意味が込められています。

✓ 国土交通省は、平成13(2001)年1月6日、中央省庁再編の一環として、運輸省、建設省、北海道開発庁、国土庁の4省庁を統合して発足しました。全省庁で最も多い13の局 (総合政策局、国土政策局、・・・) が置かれ、約3万8千人の職員が勤務しています。

✓ 全国各地に地方支分部局が置かれているのも国土交通省の特徴の1つで、近畿地方を管轄しているものには、近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪航空局、神戸航空交通管制部があります。大戸川ダム工事事務所は、近畿地方整備局の1事務所です。



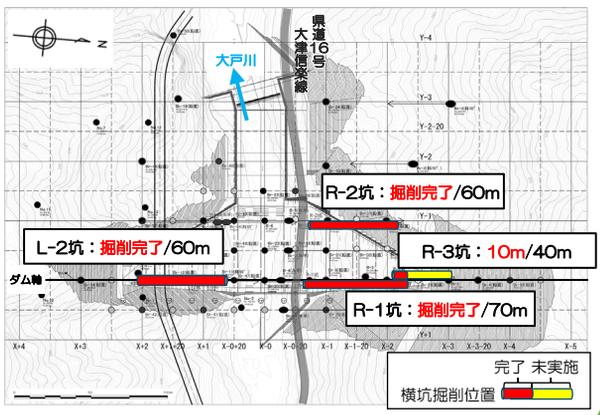
▲「MLIT Road 25」ロゴ

◆大戸川ダムが進捗状況（令和7年3月末時点）



工事

- ✓ 工①では、昨年度から掘削作業を行っていた、左岸の調査横坑（L-2坑）で予定延長の60mまで到達し、その後、岩盤清掃等を行っています。
- ✓ また、右岸高標高部の調査横坑（R-3坑）では、3月末時点で、10m（予定延長は40m）まで掘り進みました。



調査

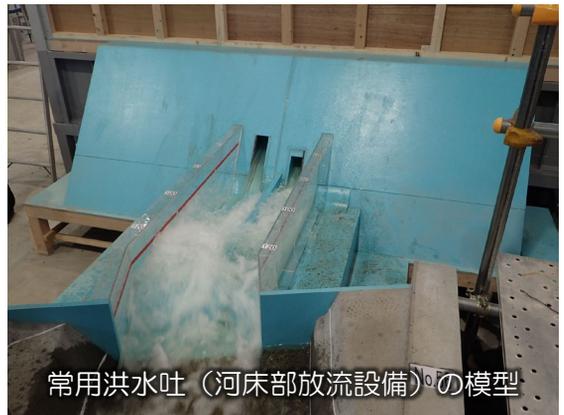
- ✓ 昨年度から継続して実施している地質調査（調①～③）では、ボーリング調査を完了し、調査に使用した仮設構造物（モノレール等）の撤去を行っています。

設計・検討

- ✓ 設④では、これまでに実施してきた調査や予測・評価の結果等を取りまとめた「大戸川ダム環境調査結果報告書」を作成しました。報告書は、事務所ホームページ等で公表しています。
- ✓ 設⑭では、ダムの洪水吐や放流能力に関する検討を行います。昨年度に実施した先行業務では、ダムの常用洪水吐、非常用洪水吐のそれぞれについて大型模型を作成し、実際に水を流して、流れ方や放流能力を確認しました。今年度も、ダム本体の設計を行う設⑥と連携しながら検討を進めていきます。



非常用洪水吐の模型



常用洪水吐（河床部放流設備）の模型

※ダムの形やゲートの配置は、設⑥で検討中のものであり、今後変更する可能性があります。

【発行】

国土交通省 近畿地方整備局
大戸川ダム工事事務所

〒520-2144 滋賀県大津市大萱1-19-32
TEL 077-545-5675（代表） FAX 077-543-5340
事務所webサイト <https://www.kkr.mlit.go.jp/daido/>
X（旧 Twitter） @daidogawadam



ウェブサイト



X（旧 Twitter）



大戸川ダム 検索

大戸川ダム